

令和4年7月19日

・杉並区立中瀬中学校 学校運営協議会だより【令和4年7月】・

中瀬中学校 学校運営協議会

会長 篠原 宣武

・令和4年7月11日学校運営協議会の概要・

1. 猛暑そして新型コロナ第7波か？と言われる第一学期後半の学校の様子を伺いました。

- ① 陽性者は本校でも増加傾向、殆どが家族関係の感染ですが経路不明も有ります。若年層は重症化しにくいと言われますが発症者のひどい頭痛や厳しい後遺症・「密着しない・十分な換気・マスク着脱の適切判断」などに配慮しながら、慎重な授業・行事・部活運営が行われています。1年生の課外での「緩み」（危機意識の散漫化）にも厳しく注意喚起がされているようです。校舎改築工事による校庭狭隘化・体育館には空調設備無し・近隣学校に協力を頂いています。
- ② 6月からの「学びポケット」により、欠席連絡始め学校保護者間の諸連絡に確実性が増した・風通しが良くなった・ペーパーレスも実現 のようです。（当校はトライアルに取り組むトップランナーです。保護者はスマホ世代、何れ区内でのスタンダードに？と推察されます。）
- ③ SDGsへの取り組みは、新聞記事から身近なテーマを取り上げてのグループ学習（6月30日八小保護者がゲストティチャー）に続き、SDGs活動を実践しているS高等学校の生徒数名を招いての学習が予定されています（7月14日）。年度内に更に4回の予定です。パワーアップ教室（7月21日～27日）は大学生ボランティアの協力を得て実施されます。

2.（先月に引き続き）スポーツ庁から示された「部活改革」について意見交換しました。

「令和5年度から3年間かけて、公立中学の休日の部活の運営主体を学校から地域の団体・組織に移す」が現時点での具体的方針、諸問題のピックアップと様々な議論が社会的に始められています。教員の過重負担の軽減と少子化対策には繋がりますが、受け皿は大丈夫なのか・（その後）平日はどうなるのか、教員の部活運営ノウハウは維持されるのか・様々な簡単ではない課題があります。行政や地域諸団体の動きなどに要注視です。【追記】（7月13日報道では）文化庁活動の地域への移行を議論している文化庁有識者会議で7月12日提言案が示されました。運動部同様令和5年度から3年間を改革集中期間とし、「休日の活動を地域の文化芸術団体や外部指導者にゆだねる取り組みを進める」、諸課題について関係団体から意見を聞き8月に提言をまとめる予定とのこと、要注視です。

【補足】学校運営協議会終了後、生徒会役員7名との懇談会を持ちました。

前任役員が取り組んだ中瀬生徒憲章「生徒主体の中瀬中を作る」を如何に継承し実現するか・・考え真剣に取り組んでいる様子が窺われ、感銘し心強さを覚えました。

新標準服の制定という大きなテーマへの取り組みなども、得難い経験になっているようです。

「勉強・部活・生徒会のバランス」に苦勞しながら引き受けている生徒会の仕事が、夫々にとって良き成長の糧になることを切に願うものです

以上

次回運営協議会予定 9月5日（月） 15:00～

（CS広報 月刊版）